

# 実施しました!



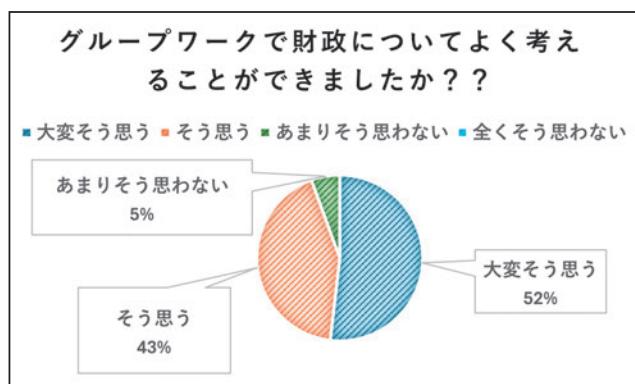
財務部職員による授業の様子



グループでの話し合いの様子



児童たちの発表の様子



財務部では、小中学校、高校向けの出前授業として、タブレット端末等を活用した予算編集シミュレーションなど、アクティブラーニングを取り入れた「財政教育プログラム」を実施しています。本ページでは、6月12～13日の2日間、真喜良小学校（50名）、川原小学校（8名）を対象に行つた出前授業をご紹介します。

## 国の財政について

授業の前半は、財務部の職員が、私たちが普段から利用している公共サービス・公共施設にまつわるクイズを行った上で、公共サービスにかかる会費は、税金で賄われていることを説明しました。また、少子高齢化の影響により、医療や年金、介護による社会保障費の増加が

その後、「もし、日本が100人の村で100万の予算だったら?」というシミュレーションで、どのような予算にすれば村の未来が良くなるか考えてもらいました。グループごとに児童たちがテーマを決め、タブレット端末のシミュレーションツールで歳入と歳出を調整しながら、100万円の予算編成を行いました。

児童たちは、「子どもと高齢者に優しい村」、「みんながお米をいっぱい食べられる村」など様々なテーマを決め、どのようにして予算を集めていくのか、反対にどの分野を中心にして予算を使っていくのか活発な議論が繰り広げられました。

グループごとの発表では、「自分たちに一番身近な消費税を減らして、法人税を増やす」、「日本の平和を維持するた

## 予算編成シミュレーション・ 「日本村の予算をつくろう!」

### 児童たちの声

授業の振り返り（アンケート）では、「集めた税金をみんなの生活に役立つことを使っていく活動を財政ということがわかった」、「将来に関わるお話を聞いて良かった」、「自分の知らないかったことが理解できたので、勉強になった」などの感想がありました。

※「日本村の予算をつくろう!」は、小学生向けのシミュレーションです。

「め防衛予算を増やす」など、自分たちの理想の村を実現するために取り組んでいました。

1

出前授業in石垣市立真喜良小学校・  
川原小学校

日本の歳入と歳出のバランスを崩し、国の借金が急激に増えている現状を伝えました。

# 財政教育プログラムを

2

## 出前授業in石垣市立名蔵小中学校

次に、6月12日、石垣市立名蔵小中学校の小学5年生から中学3年生、合計14名の生徒たちを対象に行つた出前授業をご紹介します。

### (自分の将来のために) 日本の未来について考える

授業の前半は、「(自分の将来のために)日本の未来について考える」と題し、財務部職員が身近な公共サービスや公共施設を説明し、これらを支えるための会費として税金や社会保険料が必要であること、少子高齢化など、日本の現状についても説明しました。



財務部職員による授業の様子

やたばこ税を増税し、不健康になる人を減らし、社会保障費の減少になげる」、「介護の分野に力を入れれば、親の世代が、子育てや仕事に集中できるのではないか」、「将来を担うのは子どもたちなので、子ども中心の予算にしたい」といった様々な意見がありました。

グループごとの発表では、「酒税

ればよいか」、「借金をどうするか」など、歳出と歳入をどのように増減させるか話し合いながら、タブレット端末のシミュレーションツールを調整し予算編成を行いました。

※「財務大臣になって予算を作ろう!」は、中学生向けのシミュレーションです。

### 3 一億円レプリカについて

今回の授業では、昨年発行された新紙幣の一億円レプリカ（重さ約10kg）を用意したところ、手にとつた児童たちから歓声があがりました。



生徒たちに大人気だった一億円のレプリカ

財務部では、今後も教育機関と連携し、児童たちが日本の財政に興味を持つきっかけとなる出張授業を実施していく予定です。

財務部の出前講座については、左記のお問合せ先までお気軽に問い合わせください。

お問合せ先

財務部 財務課（地域連携担当）  
☎ 098-866-0091

授業の後半は、生徒たちがグループに分かれた後、財務大臣になって、未来の日本をどのような社会にしたいかを考え、予算のテーマを決めた後、「社会保障費などの歳出はどうの分野を充実させ、又は抑制させ

いくのは次の世代なので、私たちに生徒たちは、「借金を返して

### 生徒たちの声



生徒による発表の様子